



身の回りのミューズ

- ▶ ミューズの晚餐(番組名)
- ▶ ミュージック(music)
- ▶ ミュージアム(museum)
- ▶ アミューズメント(amusement)
- ▶ モザイク(mosaic)

物語1

- ▶ “ミューズ”として独立した話は少ない。
- ▶ **アポロン**と**マルシュアース**(女神**アテナ**が「何だコレ吹けねえ」と捨てたオーボエを吹くことができて、調子に乗った男)の争いを審判しました。

アポロン (装飾:キタラ(大型の竖琴)) VS **マルシュアース** (装飾:捨てたオーボエ)

- ▶ ミューズは**アポロン**の勝利と判定を下し、負けた**マルシュアース**は…
 - 木に縛られ生皮を剥がれた。
 - or
 - スキュティア人に刺された → その時の血、または彼の死を恐しむものから**マルシュアース**の羽が流れ出した。

物語2

- ▶ ある日、ギリシャの吟遊詩人でありトラキアの**タミュリス**は、「ミューズと争って勝ってみせる！！」と豪語しました。それを聞いたミューズ達は「…(一冊)」という事で怒ってしまい、彼の音楽の才能と視力を全て奪ってしまいました。
- ▶ 遂に…
- ▶ 盲目の吟遊詩人だったファイアケスの**デモドコス**は、ミューズから歌う才能と描るぎない記憶を授けられました。その後、バイアキアの城で「トロイア戦争」の話をし、同席していたオデュッセウス(トロイの木馬を考え、作った人)を感涙させたといわれています。

ミューズとは

- ▶ ギリシャ神話の9人の女神の総称。
- ▶ ギリシャ語では「ムーサ」、英語では「ミューズ」という。
- ▶ 不倫・浮気・同性愛何でもアリの最高神ゼウスと、記憶を司る女神ムネモシネーが9夜交わってできた9人の娘(美少女)。この娘たちがゼウスを算美する行為を「ミュージック(ギリシャ語)」といわれ、これが「ムジカ(羅・伊語)」になり、ミュージックの語源となった。
- ▶ 博物館・美術館の英単語“Museum”は「ミューズの神々の神殿」が原義。

Music Museum } ミューズが語源！！

それぞれの担当

- ▶ カリオベ (Kallope: 美声): 叙事詩 鉄筆と書板
- ▶ クレイオ (Kleio: 賞賛する女): 歴史 巻物
- ▶ エウテルペ (Euterpe: 喜ばしい女): 抒情詩 笛
- ▶ メルポメネ (Melpomene: 女性歌手): 悲劇 悲劇の仮面、靴など
- ▶ タレイア (Thalia: 豊かさ): 喜劇 喜劇の仮面、靴、羊角の杖
- ▶ テルプシホラ (Terpsichora: 踊りの楽しみ): 合唱歌舞 竖琴
- ▶ エラト (Eratō: 愛らしい女): 恋愛詩 竖琴
- ▶ ポリュウムニア (Polyhymnia: 多くの讃歌): 賛歌
- ▶ ウラニア (Ourania: 天上の女): 天文学 杖

その他にも・・・

- ▶ **地獄**。たちがミューズに勝負を挑んだところ、競技に負けて海に身投げした。

Etc...

人間に才を与えているところを見ると、神様だなおもうんですが、全体的に負けず嫌いな氣質みたいですね。

参考資料

- ▶ ギリシャからの書置たち(このページ面白いです！) <http://wedder.net/kotoba/greek.html>
- ▶ ミューズはミュージックのはじまり http://homepage2.nifty.com/pietro/storia/musa_comincia.html
- ▶ テオポリス <http://www.h6.dion.ne.jp/~em-em/index.html>
- ▶ ミューズのお話 <http://www.wah1.net/eng/ajal-m-8c-ah/hjgrmsa.htm>
- ▶ 第15回 オデュッセウスの冒険(2) <http://www.mccities.co.jp/Playarea/Toy/5011/new/home15.html>
- ▶ 『絵で見るシンボル辞典』1986年 水之江有一編 研究社出版
- ▶ 『ギリシア・ローマ神話辞典』1960年 高津春繁著 岩波書店
- ▶ 『世界神話大辞典』2010年 イヴ・ボンソフア編 株式会社大修館書店
- ▶ ジーニアス英和辞典

西洋芸術・学問のイメージ内にも・・・

- ▶ 気になったので探してみると、8項目8つの絵の中にも存在していました。
- ▶ 歴史学 クレイオ
- ▶ オペラ カリオベ
- ▶ 悲劇と喜劇 メルポメネとタレイア
- ▶ 音楽(Ⅱ) 9人全員の名前など
- ▶ 交響曲 エウテルペ
- ▶ 歌・舞台音楽・教会音楽 エラト
- ▶ 歌唱 ポリュウムニアとエラト
- ▶ 歌 エラト

中世の芸術・学問では、結構存在感大きかったのでしょうか。

カリオペ

- ▶ ミューズの長女だという説があります。
- ▶ 有名な**アポロン**と結婚し、**オルフオオ**という息子を儲けました。(トラキアの王様と愛人関係という説も・・・)
- ▶ その**オルフオオ**は超美男で音楽のセンスもあって、トラキアという国の女性たちに大人気だった。彼が美しい**エウリデーテ**と結婚した時、式の最中に**コウリデーテ**は蛇の毒で死んでしまいます。オルフオオは死の国に行って「妻を戻して」と懇願。「地上に早く来て、一切妻の顔を見ない」という条件でそれを許されるが、彼が勝って約束を破り、結局離れ離れになりました。オルフオオが「I人」で帰ってきたと知ったトラキア女性たちは、「我こそは！」と**オルフオオ**にアプローチ。がしかし、それを見向きもしない**オルフオオ**。そのうち相手にされない女性たちは辛くして、**オルフオオ**は女性たちにコテンパンにのされ死んでしまう。むごいことに、女性たちは「これでもかテーマー！」と、死体をバラバラにして、トラキアの野に捨ててしまった。